

東大理Ⅲ(医学部)に子ども4人を合格させた

in 前橋

佐藤ママ講演会

～伸びる子どもの育て方～

幼児 小学生 中学生

主催：朝日新聞社、一般社団法人群馬県朝日会 後援：群馬県教育委員会、前橋市教育委員会

第1部

佐藤ママも実践していた！

子どもを伸ばす7つのルール

子どもは基本的に勉強嫌い。だけど、どんな子も必ず伸ばせる。佐藤ママが4人の子どもたちに実践した試行錯誤についてご紹介。さらに勉強に自然に取り組み、学習の習慣が日常的となる環境づくりなどについてお話しします。



第2部

保護者の皆さまからの質問にお答えします

教えて！佐藤ママ

全国の講演で保護者の皆様から寄せられた多数の質問や相談の中から、代表的なものを選んで回答します。家庭だけでなく、学校や友達、部活動など心配の種はさまざま。保護者が共感するお悩みや質問を佐藤ママが一刀両断。明快な解決策に胸のつかえもとれるはず。

第3部

大学入試の常識が変わります。今日から鍛える4つの力

2020年度大学入試はこう変わる！

講師 朝日新聞社 2020入試改革アドバイザー 森田 明子氏



MORITA Akiko もりた あきこ

朝日新聞東京本社 顧客開発プロモーション部専任部長 兼 2020入試改革アドバイザー。朝日新聞社で社会人教育や就職セミナーなど、教育部門に携わる。自身が開発した「天声人語書き写しノート」は教育現場でも広く採用され、累計400万部を超えるベストセラーに。大学入学共通テスト試行調査を詳細に分析した研修や講演を全国で開催。現場の教育関係者からも注目を集める。2018年から現職。

大学入試のみならず、入社試験や実社会においても自分の考えを言葉で伝えたり、相手の意図を読み取る力が求められる場面が増えています。

2020年度から実施される大学入試共通テストの試行調査でも、今までのような一問一答や文の流れを追って順に設問に答えるような出題が減り、替わって複数の資料を読み取り、自身の考えを簡潔に伝えるという新たな形態の出題がありました。また全ての教科で時事問題に関わる内容が導入されています。

累計400万部超のベストセラー「天声人語書き写しノート」開発者の森田明子氏が、試行調査の分析を軸に、今後子どもたちに求められる4つの力（読解力、情報処理力、表現力、時事問題の知識）について説明し、その力を鍛えるために無理なく続けられる「新聞を使った方法」をお話しします。

— 講演会参加者の声 — 神奈川の中学校で中3生対象に講演会を実施。受講後のアンケートから抜粋しました

- 入試への意識が変わった。社会の一問一答は解けるのに模試や入試の過去問の点数が取れない理由がわかりました。Allに負けない人間になりたい。(中3)
- 文章問題が今までより多く出ると知り、私は文章を読むのが苦手な遅いので、たくさん文章を読み練習しようと思いました。(同上)
- 暗記だけではないんだなと思った。自分の考え方が大事になると知った。(同上)
- 新聞一つで多くの学習ができることを知って驚きました。(同上)
- 新聞は読んでいたが、事実と意見の違いや図と関連させて読むなどの意識が高まった。(同上)
- 私の家では新聞を取ってなかったので、お母さんに取って欲しいとお願いしました。(同上)

- 内容の濃い一時間でした。「高校入試の変化」や「面接シート」の書き方について話してくれたので、受験に向け良い意識づけになったと思います。特に書くのが苦手な子には何からやればいいか、どんな取り組みが良いか、理解する良いきっかけになったと思います。(教員)
- 大学入試と関連付けて高校入試の話をしてもらっているとき、生徒たちはいつも以上に真剣な表情で進路への関心が高まったように感じました。進路学習の良い導入になりました。教員にとっても日頃の授業や試験に活かせるものでした。(同上)
- (講演会後のアンケート結果を見て)研修を実施してつくづくよかったと思った。(校長)